



自主・自律・自信

子どもたちの主体性を育み、伸ばす小学校



東 山

Higashiyama Elementary School

令和7年度 学校だより

12月号

令和7年11月26日

目黒区立東山小学校

校長 村尾 勝利

東山小で主体的な学びができる子どもを育てる

副校長 村上千尋

11月14日(金)に、令和6～8年度文部科学省研究開発学校・目黒区教育開発指定校として「自発的な学習能力の育成」の研究発表会を開催し、全国各地から620名を超える方の参観がありました。

本校が取り組む「学びに向かう力」の育成や「主体的な学び」の推進について、(火)(木)20分間の「マイスタ」や「東山小版自己調整学習」に取り組む児童の様子や姿勢を見た参加者から大きな反響があり、研究の成果を実感しました。意識調査の結果、「マイスタ」では、「自分の課題が分かっている」と回答した児童が9割を超え、課題の解決のために、自分の経験から取り組む内容選んでいることも分かりました。また、「自己調整学習」では、9割を超える児童が「自己調整学習はやりやすい」と感じ、8割を超える児童が「一人で学習課題を解決することができる」と回答しています。

その後の文部科学省教育課程企画室長 栗山和大 様、甲南女子大学教授 村川雅弘 様による対談の中で「これからの日本の教育が目指す学びを具現化した先進的・革新的なものである」と、講評をいただき、研究開発を価値づけていただいたことは、本校教員の大きな励みとなりました。今後も、教育活動全般を通して、主体的な学びができる子どもを育てていきたいと考えます。



今月の主な予定

*詳しくは学年だよりをご確認ください。

★スクールカウンセラーの勤務曜日 月曜日(廣内 SC)・火曜日(川上 SC)・水曜日(池田 SC)・木曜日(柴原 SC)

12/1	月	全校朝会 委員会
12/2	火	健康指導
12/4	木	イングリッシュルームの日 健トレ
12/5	金	安全指導 ともあそび
12/8	月	児童集会 下校14:30
12/10	水	4時間授業 下校13:00
12/11	木	学芸会リハーサル 健トレ
12/12	金	学芸会 児童鑑賞日
12/13	土	学芸会 保護者鑑賞日
12/15	月	学芸会振替休業日
12/16	火	避難訓練
12/17	水	ペースランニング(中学年)
12/18	木	ペースランニング(低学年) 6年生笑顔プロジェクト(ドローン操縦体験)
12/19	金	ペースランニング(高学年)
12/22	月	4.5.6年生クラブ活動(3年クラブ見学②)
12/26	金	冬季休業日開始

東山小の子どもたち

～学芸会紹介～

1 年生

「アイウエオリババ」

魔法の呪文「ひらけ、ごま！」を唱えると、そこにはたくさんのお宝がありました。五つ子の兄弟や泥棒などが、お宝をめぐる攻防するお話です。1年生は、小学校初めての学芸会です。

一人一人が役になりきり、元気に楽しく演じる姿は是非ご覧ください。



2 年生

「とりの王さまコンテスト」

ある日、神様が「とりの王さまコンテスト」を開催すると言いました。様々な鳥たちが「とりの王さま」になるためにアピールする中で、カラスはよいアイデアを思いついたようです…。

2年生初の学芸会。鳥達のダンスやそれぞれの台詞に注目してご覧ください！



3 年生

「ナマケロナマケロ」

とある小学校に、ナマケロ星人がやってきました。人をなまけさせる粉をかけられて、子どもたちは次々になまけていってしまいます。果たして子どもたちは、なまけたい心に打ち勝って、小学校を守ることができるのでしょうか。愉快的宇宙人と子供のやり取りや、歌とダンスに注目です！



4 年生

「オズの魔法使い」

カンザスに暮らしていたドロシーは竜巻に巻き込まれ不思議な世界へ。お家に帰るため、素敵な仲間達とともに大冒険が始まります！果たしてドロシー達は、願いを叶えることができるのでしょうか。

本当の自分、新しい自分を見つけるために、4年生は勇気を出してチャレンジしていきます！



5 年生

「夢から醒めた夢」

好奇心あふれるピコは夢の配達人に導かれ、「もう一度お母さんに会いたい」と願う幽霊の少女マコと出会います。マコの願いを叶えるために霊界へ向かうピコ。夢と現実が入り代わる不思議な世界で、二人が見つめる本当に大切なものとは…。

5年生が思いを込めて作り上げた舞台です。どうぞお楽しみください。



6 年生

「モモと時間どろぼう」

あなたは、どんな時間を大切にしていますか。趣味を楽しむ時間、習い事に集中する時間、家族団欒の時間…時短・タイパが重視される現代において、時間とは本来どうあるべきものなのか、その価値や意義について考えさせられるお話です。難しいテーマですが、6年生だからこそ考えるべき、そして表現できるテーマです。多くの人に伝えられるように頑張ります。



12月の生活目標 体調管理に気を付けて、健康に生活しよう

～代表委員会で話し合い、児童が決めています～

第1週 教室の空気を入れ替え、手洗い、うがいをしっかりしよう

第2週 服装に気を付けて、寒くても外へ出て遊び、強い体をつくろう

第3週 食事のマナーを守って、気持ちよく食べよう

第4週 規則正しい生活をしよう

児童生徒表彰の制度変更について

今年度から、表彰対象・基準が変更になるほか、窓口が学校ではなくなり、表彰候補者の方は、直接、目黒区教育委員会事務局に応募をしていただく必要があります。

詳しくは、11月13日付けの保護者連絡システムをご確認いただくか、区公式ウェブサイトをご確認ください。

＜応募メ切＞令和7年12月15日(月)まで

＜問合せ＞目黒区教育委員会事務局 教育政策課 教育総務係

TEL: 03-5722-9300(直通)

MAIL: kyoiku01@city.meguro.tokyo.jp

区公式ウェブサイト URL、QR コード

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/kyouikuseisaku/kosodatekyouiku/gakkoukyouiku/hyosyo-gaiyou.html>



対象 区内在住のすべての小・中学生(学校の種別を問わず)

令和7年度 目黒区教育委員会
児童生徒表彰

候補者を募集します!

学問 スポーツ 芸術
の分野で優秀な成績を収めた
小・中学生の皆さんを表彰します

募集
締切 **12月15日**

学芸会について

学芸会は、教育活動での子どもたちの成長を体現する場であり、日常では得られない経験と仲間との絆を感じることができる行事の一つです。今年度も各学年、演目のテーマとメッセージを伝えるべく、みんなの心を一つにして演じていきます。

これから学芸会のスローガンを、代表委員を中心に決めていく予定です。スローガンに入れた言葉や全学年で募集し、代表委員が集約してスローガンを決めていきます。子供たち一人ひとりの思いや個性、良さがつまんだ素敵な学芸会にしていきたいと思います。

衣装のご準備等、ご協力いただくこともあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

デフリンピック観戦

11月17日にデフリンピックを観戦しました。デフリンピックとは、聴覚に障害があるアスリートを対象とした国際総合スポーツです。聴覚に障害がある方の立場になって、学校生活や普段の生活について考えるなど、だれもがくらしやすい社会について事前に学習しました。当日は声が届かない選手のために、手話の応援「サインエール」を練習して観戦に臨みました。

駒沢競技場で、陸上競技の100m走や砲丸投げなどを観戦し、選手の皆さんの姿に圧倒されました。練習したサインエールを全員で、全力で行い、選手に思いを届けることができました。



OJT 研修について

本校では、全教員を対象として、教科等の学習指導における専門的な知識やスキルを磨くために、月に1回 OJT 研修を実施しています。

目黒区では教員一人一人が教科を選び、月に一回ほど集まる「部門研究会」があり、教科の専門性を高めています。あわせて校内 OJT で様々な教科に触れることで、本校の実情に合わせて指導内容をよりよいものにすることができます。

今後も教員同士で高め合える環境づくりを行っていきます。

小中連携 「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」

目黒区では、年間3回「小中連携の日」を設定し、東山小・烏森小・東山中の教員による授業参観や教員同士の情報交流を行っています。その中に「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」があり、東山中学校の2年生と烏森小学校・東山小学校の6年生の児童がいじめを防止するための各校の取り組みなどについて話し合いをしています。

今年度は、『いじめに気づける学校を目指して』をテーマに、自分は楽しくても、相手はいやな気持ちになっているという事例について、個人・全体としてどうすればよいか話し合い、考えを深めました。そして、いじめに気づける学校を目指すための3校合同のスローガンも考えました。出た意見は、各小学校の代表委員と東山中学校の生徒会を中心にまとめられ、「**思いやろうあなたとわたし～認め合おう自分らしさ～**」に決定しました。子ども会議で話し合った内容やスローガンは、代表委員会が全校へ周知し、各教室にスローガンを掲示しています。いじめのない学校をつくるために、自分は関係ないと思わずに自分の行動を振り返り、見直していく機会にしてほしいと思います。



各校の取り組み発表



グループごとの話し合い



代表者会議

「運動会」 10月28日（火）～一部抜粋～

- ・徒競走も演技も子供たちが精一杯頑張って練習の成果を発揮している様子がよく伝わってきました。
- ・1～6年生まで、各学年のテーマに沿った表現も時代や流行、文化を感じられ興味深かったです。発表のある学年の親が前方で見られるよう、アナウンスがあったり、水分補給を促したり、細かい部分への配慮を感じました。
- ・応援団の子供たちの頑張りが運動会を盛り上げていました。
- ・本番に向けて子供たちが、自分の係に一生懸命取り組んで運動会を作り上げていることが素晴らしいと思いました。当日見ただけでは分からない努力があるのだと思いました。
- ・表現においては、去年より個人での取り組みの他に、仲間と協力して1つのことを成し遂げよう！とする一体感を感じる事ができ、素晴らしい発表だったなと思います。成長と表現の高さに感動しました！
- ・毎日時間を見つけてはiPadと睨めっこしながらの練習に取り組みました。子どもたちの表情が真剣で、それぞれみんな頑張った成果が出せた瞬間は本当に素晴らしかったです。
- ・子供達と先生方の練習の積み重ねを見られて貴重な機会でした。グループ、クラス、学年、学校全体など様々な規模で協力しあい一致団結する経験になったのではと思います。
- ・子供達と帰宅後話したところ、先輩の取り組みの様子を見て憧れているようでした。運営面では、演目の該当学年毎に保護者の立ち位置を譲り合うアナウンスもわかりやすく、保護者の参観の動きもスムーズでした。
- ・子供達の練習の成果が表現プログラムで見ることができたことに感動しました。時間配分やプログラムの構成について、年々色々和学校側が考慮していることが理解できました。
- ・ピロティで児童を待機させることで保護者との動線も被らず、入退場がスムーズだったと思います。
- ・東山小学校では、高学年のソーラン節を見てカッコいい！と思って育った子が、5年生になるとカッコいいソーラン節を披露してまた低学年の子がカッコいいと思い何年後かに頑張るという素晴らしい連鎖があると思います。いつまでもカッコいいと思える高学年のいる小学校であってほしいです。
- ・組体操は6年生が練習を積み重ね、心を合わせて演技しているのが伝わり、完成度が高く見応えがあり、大変感動しました。ご指導下さいました先生方、本当にありがとうございました。雨天順延により、最後に練習する機会があり、娘は最後の練習に感極まったと申しておりました。

PTA 執行部の皆様、おやじの会の皆様、運動会サポーターの皆様には保護者入退場及び、会場の見守りをいただきました。ありがとうございました。

また、アンケートには演技についての課題や要望、進行や参観場所のご指摘もいただきました。アンケートは全教職員で回覧し、来年度の開催の内容や、方法等に生かしてまいります。